

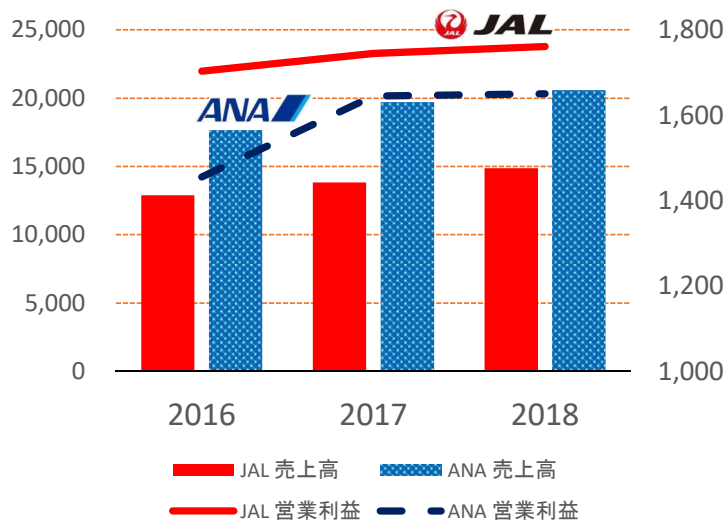


日本航空 18年度決算も増収増益

JALユニ 宣伝ビラ
No16-05 5月

過去最高の利用率！ 忙しさも過去最高!?

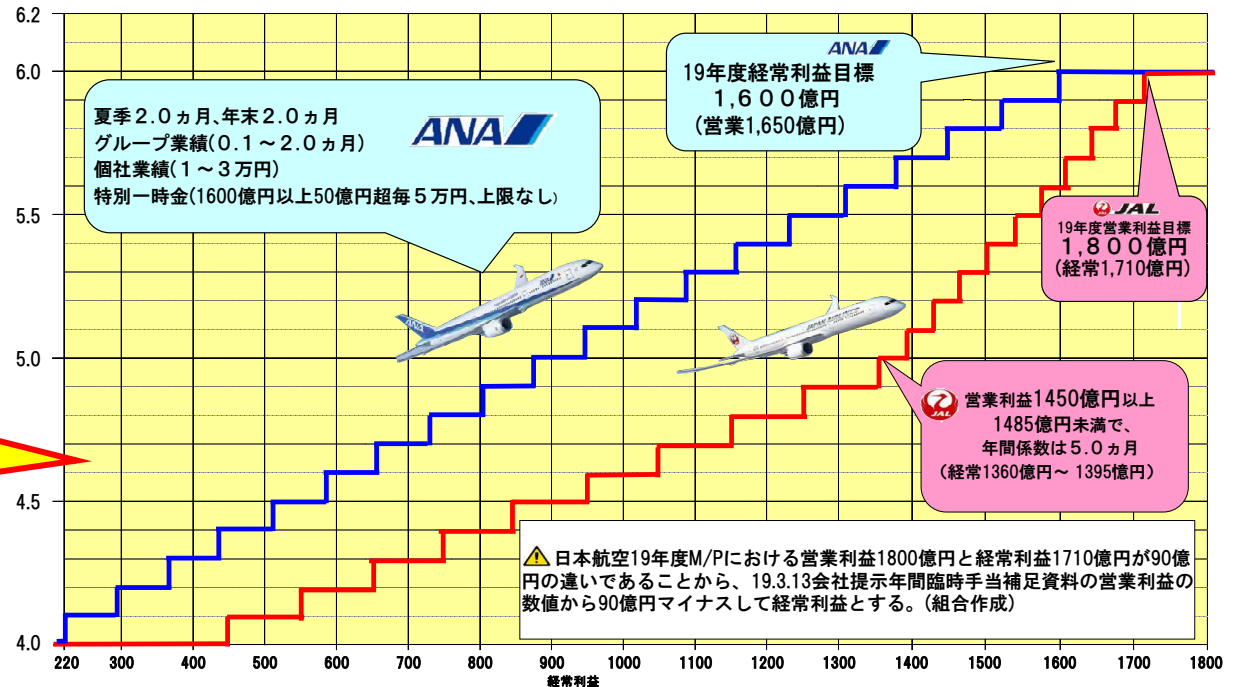
3年間の売上高と営業利益



JAL/ANA の18年度決算が発表され、期末一時金がそれぞれ決まったところですが比べてみると、売上高が2兆円にまで拡大したANAグループよりも、営業利益ではJALグループの方が上回りました。でも、年間一時金の係数はANAより抑えられています。今年度も、同じような提案を受けています。

JALの6.0ヵ月はANAより高い目標

《2019年度 年間係数》



人への投資として

夏に3ヵ月

要求中!

稼いだ利益は出資、投資、自社株買いに？

5月15日、日航内4労組を集めての決算説明会が行われました。2018年度決算は前年対比で増収増益となり、19年度も営業利益1800億円の業績予想です。着実に利益を出せる体質になってきていますが、稼いだ利益の配分はどこを重視しているのでしょうか？配分先は「設備投資」「株主還元」「内部留保」「人件費」などがあります。

2019年度の主な地上投資

- スマート空港へ向けて
- ・自動チェックイン機の刷新、増設
 - ・セルフバゲージドロップの導入
 - ・顔認証設備を導入
- お客様のニーズに応えるため
- ・ラウンジ、WEBの刷新
 - ・コンタクトセンターの品質改善
- 業務改善、生産向上へ向けて
- ・AI、RPAの活用
 - ・SMART整備の充実

株主還元

**自社株
購入**
200億
(実施済)

内部留保

**1兆円
以上**
自己資本比率
57.4%

2019年度はA350の就航があるので航空機への投資も前年より増えています。投資や株主還元も大事ですが、会社を支える従業員への還元も必要です。一時金は春に提示されているものの、夏に必要な係数を再度要求しています。他にも今必要な手当の新設や既存の手当の増額など還元方法を提案します。

夏の交渉実施中!

あなたの声を「JALユニ」へ



私たちは、5月に夏闘要求を提出し、6月21日までJAL経営と交渉を重ねます。今年は多忙な職場の人員問題や疲労管理について深く話し合います。グループ会社を含めた多くの職場の皆さんの声を伝えるために上のQRコードからアンケートにご協力ください。とても簡単です。

JALユニ 夏の一時金アンケート

- ①職種 ②年代 ③職場で人は足りていますか？(4択)
④疲労は取れていますか？(4択) ⑤会社、組合へひとこと

JAL解雇問題

株主総会までに解決を

昨年5月から解雇争議解決に向けた特別協議を行っていますが、応募の機会が提供されているだけで、問題解決には至ってません。復職を希望している人が応募しても、「採用は公平公正に行っている」と言い、乗務職には一人も採用されず、年齢や健康の理由で復職が叶わない人への金銭的解決にも会社は応えません。組合は、一日でも早い解決を目指して会社と交渉を続けています。また、原告団や支援する会は、6月の株主総会での解決を目標に集中的に行動しています。5月は関東キャラバンを実行。8都県を回っています。その最後が30日東京、野村不動産天王洲ビル前になります。

5月30日 18:00 **JAL** 本社前
19:00 **宣伝・要請
行動**

解決しないと6月も続きます
株主総会は6月18日 **JAL原告団**

「解決したいと思っている」という赤坂社長の言葉を信じてます！

日航労連「JALユニ」宣伝ビラ No 16-05 2019年5月

発行：日本航空労組連絡会議

Tel/Fax03-6423-2461

日本航空乗員組合・日本航空ユニオン・日本航空キャビンクルーユニオン